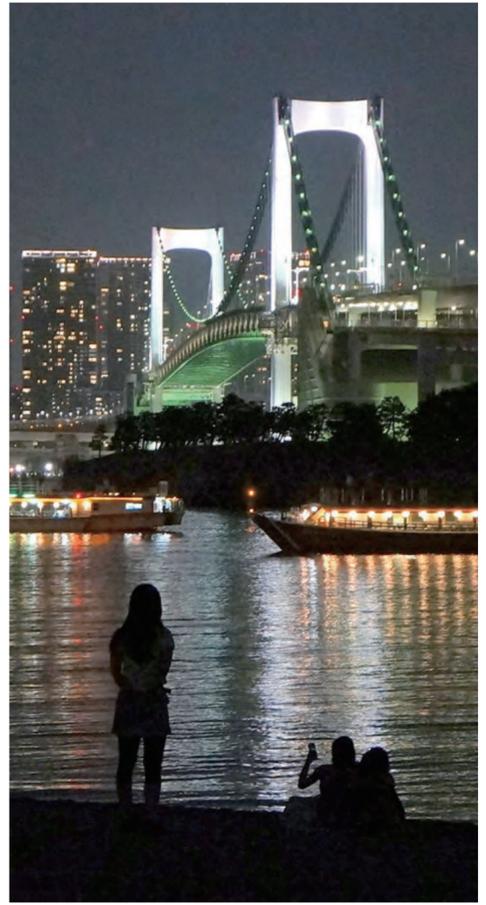


芝浦台場

SHIBAURA / DAIBA



- COURSE E1 芝浦コース
- COURSE E2 港南コース
- COURSE E3 レインボーブリッジコース
- COURSE E4 お台場コース



ベイエリア「昭和の倉庫街から平成の高層住宅街へ」

ベイエリアは埋め立てによって開発された街です。埋め立てとともに港からの物資輸送のための水路として運河が作られ、運河沿いには運ばれてきた物資を保管するための倉庫がたくさんありました。



昭和初期の芝浦桟橋

昭和に入り、汐留駅から芝浦駅までを結ぶ貨物専用の芝浦臨港鉄道が開通し、昭和40年代の高度経済成長長期には170万トンの貨物を取り扱うようになりました。しかし、コンテナ船やフェリー就航などの輸送革新が進み、陸上貨物は鉄道輸送からトラック輸送に転換しました。その後、バブル期のウォーターフロント開発により、空き倉庫がディスコやライブハウスとして利用されると倉庫街は一時的な脚光を浴びることとなりました。



平成のハイリッジ 高層マンション

平成5年(1993)には芝浦と台場を結ぶレインボーブリッジ①が開通し、同様に湾岸地域の再開発も急速に進められました。その代表的なのが、平成19年(2007)に島びらきとなった大規模な高層住宅群「芝浦アイランド」②です。49階建ての高層マンション4棟に、約1万人が暮らしています。運河の脇には遊歩道が整備され、水辺の景色を楽しみながら、散歩することもできます。

今後も再開発が進み、新しい建物の建設が予定されているベイエリアの発展が注目されています。

芝浦が国内初の海水浴場…?!

江戸時代、芝浦地区はそのほとんどが海でした。当時は、江戸前の魚などが捕れる豊かな漁場で、芝浦で捕れた魚は「芝肴」と呼ばれ、将軍にも献上されたそうです。



芝浦浴 最新東京名所百景 (港区立港郷土資料館所属)

明治時代には、新鮮な魚と房総半島を見渡せる風光明媚な海岸にも恵まれ、料亭や旅館が軒を連ねるリゾート地として栄えました。行楽以外にも海水浴(潮湯浴)を目的に訪れる人もたくさんいました。

芝浦海水浴場は、明治11年(1878)に開設されました。当時の海水浴は病気療養や健康増進のため、海で泳ぐのではなく海水を沸かした湯に浸かるというものでした。これまでは、



芝浦水泳所絵巻書 (港区立港郷土資料館所属)

明治18年(1885)に開設された神奈川県の大磯海水浴場が発祥の地とされていましたが、数年前に芝浦海水浴場開設の申請書類が確認されたことにより、芝浦海水浴場が「国内初」という説も生まれました。

芝浦海水浴場が有名になると、周辺には料亭や旅館が多く並び、芝浦花街が発展しました。

リゾート地として栄えた芝浦も東京港湾湾整備の一環として、明治39年(1906)から埋め立てが始まり、海水浴場も最大の売り物であった海岸線の景観が失われ、料亭や旅館も軒並み廃業しました。現在は、「重箱掘」③と称され、大正2年(1913)に芝浦運河の船溜まりとして整備された石積護岸となっています。



重箱堀(芝浦一丁目)

幕末、黒船来航によって作られたお台場

蕪山代官「江川英龍」の活躍

日本の開港を求めて各国の船が立ち寄り、ペリー率いる黒船が米大統領の親書を将軍に渡すべく、嘉永6年(1853)に浦賀に入港しました。江戸湾奥まで測量に入ったことに恐れをなした幕府は、海防に詳しい江川太郎左衛門英龍(1801~1855)に命じて対抗策を作らせました。江戸防衛のため御殿山下台場を含め12基、海上台場は品川から深川沖まで11基を作る計画が認められ、すぐに着工されて6つの台場をわずか1年あまりで作り上げました。5000人の人夫と2000隻の船を使い、石垣に使う石は伊豆や安房から、土は御殿山や泉岳寺の裏山から運びだして短期間で作り上げられたのは、設計から頭頭指揮まで行った江川英龍のおかげです。



伝江川英龍自画像 (江川文庫所蔵)

伊豆蕪山の代官として領民に善政を行い「世直し江川大明神」と慕われており、世界遺産にもなった「蕪山反射炉」も並行して建設し、多くの幕府のお役目をはたして大活躍でしたが、過労もあり台場完成の直後に満53歳で亡くなりました。「回れ右」などの号令を発案し、日持ちする乾パンを開発してパンの祖とも言われています。

翌年3月のペリー再来で「日米和親条約」が結ばれて、台場は計画半分で中断して実際は使われませんでした。埋立地に吸収されたり取り壊されたりして、現存するのは第三④と第六台場⑤の2つだけです。第三台場は台場公園として開放されており、お台場一帯の展望もよいお勧めの訪問地です。



第三台場(台場公園)



港区観光ボランティアの会

港区観光ボランティアの会は、港区が実施している育成講座を修了した港区公認のガイドで作られている会です。「広報みなと」などで募集する「参加者募集ツアー」と、お客様の希望する日時にガイドを派遣する「ガイド派遣サービス」を提供しています。詳細は、下記をご覧ください。

「港区観光協会」ホームページ
<http://www.visit-minato-city.tokyo/ja-jp/>

ガイド派遣サービス申込方法

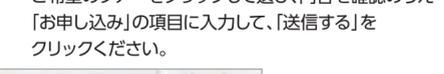
- 港区観光協会ホームページにアクセスします。



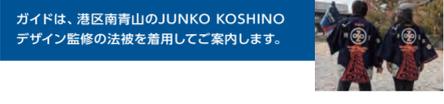
- 右下の「ボランティアガイド」の「ガイド派遣サービス」をクリックします。



- タイトルの下にツアーのリストが表示されますので、ご希望のツアーをクリックして選び、内容を確認のうえ「お申し込み」の項目を入力して、「送信する」をクリックください。



- ガイド派遣サービス
- 申込人数:原則として2名以上、20名以内(小学生以上)
 - 申込時期:希望日の2か月前から20日前まで
 - ガイドの手配が難しい場合もあることをご了解ください
- ガイドは、港区南青山のJUNKO KOSHINO デザイン監修の法被を着用してご案内します。



公式 SNS では港区の観光情報を日々発信中!



本誌記載の情報は、発行後に変更になる場合もございますので、お出かけの際には、お電話等でご確認いただくことをお勧めいたします。

問合せ先 港区観光協会 ボランティアガイド担当 03-6809-5514(平日9~17時)

発行 一般社団法人 港区観光協会 東京都港区芝5-36-4

編集 港区観光ボランティアの会 発行年月 令和7年3月

COURSE E1 芝浦コース

11 ムスブ田町

JR田町駅から屋根付き歩行者デッキで直結しています。主に低層階は商業施設となっており、近隣住民・オフィスワーカーを中心に賑わいのある利便性の高い施設です。定期的にマルシェも開かれています。



12 みなとパーク芝浦

芝浦港南地区総合支所、スポーツセンターなどが入っている港区の複合施設です。基本構想の段階から区民が参画し、防災機能の強化などへの取り組みが図られています。



13 新芝浦運河沿緑地

運河沿いに整備された遊歩道です。夕方、自動的にガス灯が点灯します。楽器を演奏する3人組の銅像「リバーサイドトリオ」という黒川晃彦の作品があります。



14 芝浦アイランド

かつて都電の車両基地などあった島は、今や、4棟の高層マンションに1万人を超す住民が暮らしています。緑あふれる島を一周する遊歩道は格好の散歩道です。



●船路橋

元都電専用橋が線路のイメージの歩道橋に造り変えられました。



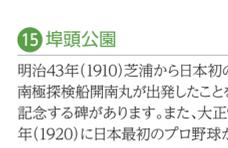
●カルガモ人工島

毎年GWにひなが生まれています。



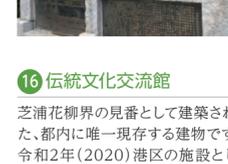
●カニ護岸

運河をきれいにし、カニが住めるよう、護岸の約200mにわたり、自然に近い環境を整備しています。



15 埠頭公園

明治43年(1910)芝浦から日本初の南極探検船開南丸が発航したことを記念する碑があります。また、大正9年(1920)に日本最初のプロ野球が発足した場所で、ナイター設備の整った人工芝の少年野球場もあります。



16 伝統文化交流館

芝浦花柳界の見番として建築された、都内に唯一現存する建物です。令和2年(2020)港区の施設として整備され、区の文化財にも指定されました。芝浦の歴史に関する展示室があり、伝統文化に関するイベントも多く開催されています。



COURSE E2 港南コース

21 品川セントラルガーデン

品川駅港南口直結の再開発によって造られた幅約45m長さ約200mの公園で、水・光・土・石・風・草・木からイメージされた7つの造形物があります。



22 楽水橋

高浜運河に架かる橋で、名前は旧東京水産大学同窓会の楽水会に由来しています。



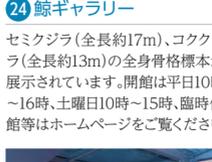
23 雲鷹丸

水産講習所(旧:東京水産大学、現:東京海洋大学)の練習船として活躍しました。現存する国産鋼製船舶では最古の船です。船上でのカニ缶製造に成功し、後の大型蟹工船の先駆けとなりました。



24 鯨ギャラリー

セミクジラ(全長約17m)、コクジラ(全長約3m)の全身骨格標本が展示されています。開館は平日10時~16時、土曜日10時~15時、臨時休館等はホームページをご覧ください。



25 高浜運河沿緑地

要所にベンチがある遊歩道で、運河を渡る風も流れ、季節の花も楽しめる憩いの場所となっています。



26 品川シーズンテラス

ビル内には飲食店やクリニック、ランニングステーションがあり、隣接する3.5haの緑地は季節毎の各種イベントやドラマのロケ地としても利用されています。



27 芝浦中央公園

品川シーズンテラスに直結した公園で、ドッグランやアスレチックも整備されています。



28 コクヨ THE CAMPUS

コクヨ株式会社が運営する「働く・暮らす・学ぶ」の実験場で、誰でも利用できるオープンラウンジ・コーヒースタンドなどがあります。また、大型階段やデッキなどの、街に開かれた屋外空間もあります。



COURSE E1 芝浦コース

発	JR田町駅芝浦口	移動時間	1分
11	ムスブ田町	5分	
12	みなとパーク芝浦	3分	
13	新芝浦運河沿緑地	5分	
●	船路橋	1分	
14	芝浦アイランド	1分	
●	カルガモ人工島	1分	
15	埠頭公園	15分	
16	伝統文化交流館	10分	
着	JR田町駅芝浦口	10分	
所要時間(入場・休憩含まず)		約2時間	



COURSE E2 港南コース

発	JR品川駅港南口	移動時間	3分
21	品川セントラルガーデン	10分	
22	楽水橋	3分	
23	雲鷹丸	5分	
24	鯨ギャラリー	3分	
25	高浜運河沿緑地	10分	
26	品川シーズンテラス	1分	
27	芝浦中央公園	10分	
28	コクヨ THE CAMPUS	3分	
着	JR品川駅港南口	3分	
所要時間(入場・休憩含まず)		約2時間	

COURSE E4 お台場コース

発	ゆりかもめ お台場海浜公園駅	移動時間	15分
41	台場公園	10分	
42	お台場海浜公園	10分	
43	自由の女神像	15分	
44	フジテレビ	5分	
45	ダイバーシティ東京 プラザ	5分	
46	シンボルプロムナード公園	3分	
着	ゆりかもめテレコムセンター駅	15分	
所要時間(入場・休憩含まず)		約2時間	

COURSE E3 レインボーブリッジコース

発	JR田町駅芝浦口	移動時間	10分
31	芝浦アイランド	15分	
32	芝浦南ふ頭公園	10分	
33	レインボーブリッジ	15分	
34	台場公園展望地	10分	
35	お台場海浜公園	10分	
着	ゆりかもめ お台場海浜公園駅	10分	
所要時間(入場・休憩含まず)		約2時間	



COURSE E3 レインボーブリッジコース

31 芝浦アイランド

E1 芝浦コース 14 参照



32 芝浦南ふ頭公園

レインボーブリッジ遊歩道入口の近くにあり、レインボーブリッジを真下から眺められる海辺の公園で、東京湾を一望できる眺めが素晴らしいです。元日には、初日の出を見る多くの人で賑わいます。



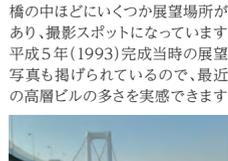
33 レインボーブリッジ

●芝浦側遊歩道入口
橋脚部の中に入ると休憩スペースがあります。南北2コースが選べ、いずれかで7階までエレベーターで昇ると、遊歩道に出られます。21時まで(11~3月は18時)開放されており、夜景も楽しめます。



●遊歩道・展望所

橋の中ほどにいくつか展望場所があり、撮影スポットになっています。平成5年(1993)完成当時の展望写真も掲げられているので、最近の高層ビルの多さを実感できます。



●レインボーブリッジからの夜景

北側遊歩道の台場展望地の近くから、芝浦方面に日没が見られます。



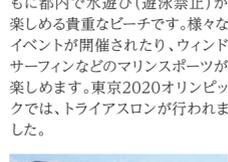
34 台場公園展望地

徳川幕府がペリーの黒船来航後に江戸防衛のために築いた砲台跡のうち、現存する第三台場と第六台場を見下ろすことができます。(写真は台場公園となっている第三台場です)



35 お台場海浜公園

伊豆の神津島の砂を運んで作られた人工砂浜で、葛西臨海公園とともに都内で水遊び(遊泳禁止)が楽しめる貴重なビーチです。様々なイベントが開催されたり、ウィンドサーフィンなどのマリンスポーツが楽しめます。東京2020オリンピックでは、トライアスロンが行われました。



COURSE E4 お台場コース

41 台場公園

お台場海浜公園から地続きで行ける第三台場は、公園として公開されています。陣屋跡や火薬庫跡が見られます。石垣の上には砲台のレプリカもあり、周囲の展望も楽しめます。



42 お台場海浜公園

E3 レインボーブリッジコース 35 参照



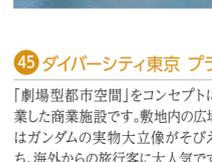
43 自由の女神像

パリにある自由の女神像が「日本におけるフランス年」事業の一環として平成10年(1998)から1年間設置されました。好評のためフランスからレプリカ製造を許可され、2年後に設置されました。



44 フジテレビ

丹下健三設計による、メタリックな素材の球体展望室「はちたま」が組み込まれたオブジェのような造形になっています。石垣の上には砲台のレプリカもあり、周囲の展望も楽しめます。



45 ダイバーシティ東京 プラザ

「劇場型都市空間」をコンセプトに開業した商業施設です。敷地内の広場にはガンダムの実物大立像がそびえ立ち、海外からの旅行者に大人気です。



46 シンボルプロムナード公園

台場、青海、有明の各地を結んで、臨海副都心内のさまざまな施設をつないでいる遊歩道の公園です。テレコムセンターまでの公園周囲には東京国際交流館・日本科学未来館・TOKYOミナトリエなどがあります。

